

科 目		地理学B (GeographyB)			
担当教員		八百 俊介 教授			
対象学年等		全学科・5年・後期・選択・1単位【講義】(学修単位I)			
学習・教育目標		C3(80%), D2(20%)			
授業の概要と方針		世界における社会的・経済的問題(貧困問題, 移民・少数民族問題, 鉱産資源・食糧の確保, 途上国の発展など)について日本との関係や地理的視点を交えて学習する.			
	到達目標		達成度		到達目標別の評価方法と基準
1	【C3】社会的・経済的問題の原因・解決方法と日本の果たす役割が理解できる				社会的・経済的問題の原因・解決方法と日本の果たす役割が理解できるか 定期試験・演習で評価する
2	【D2】社会的・経済的問題を地理的視点から捉えることができる				社会的・経済的問題を地理的視点から捉えることができるか定期試験・演習 で評価する
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
総合評価		成績は,試験80% 演習20% として評価する.100点満点で評価し60点以上を合格とする.期末に再試験を行うことがある			
テキスト		ノート講義			
参考書		授業時に提示			
関連科目		1年「地理」			
履修上の 注意事項					

授業計画(地理学B)		
	テーマ	内容(目標・準備など)
1	異文化との混住1	国内における外国人居住者・少数民族の発生原因
2	異文化との混住2	国内における外国人居住者・少数民族をめぐる問題とその対応例
3	異文化との混住3	国内における外国人居住者・少数民族をめぐる問題
4	鉱産資源の賦存	鉱産資源の位置づけ
5	鉱産資源をめぐる問題	鉱産資源確保をめぐる諸問題
6	食料問題	食料確保をめぐる諸問題
7	水資源問題	水資源確保をめぐる諸問題
8	演習	異文化との混住と資源問題に関する演習
9	途上国の経済的状況1	最貧国・債務超過など途上国の抱える経済的問題の原因
10	途上国の経済的状況2	途上国における工業化の現状
11	途上国の経済発展1	新興国における発展の要因
12	途上国の経済発展2	工業化による途上国の発展と問題
13	途上国の展望	今後の途上国発展の方策
14	日本の役割1	SDGsと日本のかかわり
15	日本の役割2	SDGsと日本のかかわり
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	後期定期試験を実施する。	